

市民参画に係わる市民座談会（第14回）《要旨》

平成24年8月9日（木）午後7時から午後9時まで

コミュニティセンター 第1集会室

参加者 15人

【市民】岩垣、大野、小嶋、坂本、佐野、白石、野、藤井、前田、宮本、山本、米野

【職員】政策企画室 又賀、浅見 地域づくり支援課 木内

座談会における内容は以下のとおり

1 あさか市民活動まつりに、座談会のブースを設けることについて

- ・開催日は、平成24年11月17日（金）
- ・座談会メンバーの多くが、すでに他の団体からの参加を予定しているため、準備等に携わることのできるメンバーがいない。
- ・今回は期間も短く不参加とするが、次年度以降に参加できるよう検討を重ねる。

2 福嶋浩彦氏講演録について

- ・平成24年1月21日（土）に開催した講演会の講演録が完成した。
- ・市HP等には掲載はせず、紙ベースでのみ配布する。

3 グループごとの話し合い

①まちづくり	②市民参画全般	③広報・広聴	④人集め
・小嶋 ・坂本 ・藤井 ・宮本 ・山本	・岩垣 ・佐野 ・又賀 ・米野 (戸田)	・浅見 ・大野 ・木内 ・白石 ・前田 (尾池)	(竹内) (宮崎)

() 内は欠席メンバー

- ・グループに分かれて、テーマ等について話し合った。内容は別紙のとおり。
- ・④人集めについては、メンバーが少ないため、①～③のいずれかに所属することで、欠席メンバーの了解を得る。
- ・来年2月までにグループごとに報告書を作成し、3つの視点から同3月までに市長に対し具体的な提言を行うことを確認

4 次回の座談会について

- ・平成24年9月13日（木）午後7時から
- ・場所は別途連絡する。

市民座談会（第14回）

日時：平成24年8月9日（木）19時～

場所：コミュニティセンター 第1集会室

グループ名	①まちづくり（グループ名はまだ決めていない）
参加者	小島、坂本、藤井、宮本、山本
内容	<p>※要点を箇条書きでまとめてください。</p> <p>【メンバーから出された主な意見】</p> <p>○地域について</p> <ul style="list-style-type: none">・岡の夏祭りは、文化財にしてもよい。コミュニティがしっかりしている。・広沢はこどもみこしがなくなった。担ぎ手がない。・志木市では、それぞれの神社を次々に神輿が回り、それが一週間続く。・溝沼町内会では、防災に地域で取り組んでいる。・内間木は農村ではなく工場地帯。地域の人たちの思いは違う。・膝折団地は高齢化が進んでおり、買い物が困難 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none">・それぞれ心の中に「こんなまちがいい！」というイメージがある。・若い世代は出入りが多い。・朝霞を客観的に見る必要がある。・市が言っている「まちづくり」のイメージと、市民が考えていることは、それほど大きく違わないのではないか。・市の計画は総花的。表題を隠すと、どの市のものであるのかわからない。・朝霞市は湧き水が豊富→PRが下手・ハード面とソフト面に対する世代ごとの需要の掘り下げが必要（子育て・介護など）・これほど多くの保育園を設置して、今後どうするのだろうか。 ⇒何年か後には、高齢者施設とするのではないか <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none">・テーマは「住み続けたいまち」とする。・基地跡地と黒目川がポイント

市民座談会（第14回）

日時：平成24年8月9日（木）19時～

場所：コミュニティセンター 第1集会室

グループ名	②市民参画全般（グループ名はまだ決めていない）
参加者	岩垣、佐野、野、米野、（又賀）
内容	<p>※要点を箇条書きでまとめてください。</p> <p>【メンバーから出された主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・市民参画の現状把握が必要である。・市民座談会は、市民参画に寄与することが目的である。・市民参画は、「面白み」 > 「寄与」ではないか。・市民参画がどのようなレベルにあるのか、目標管理が大事である。・現在は、税金を払って誰かがまちを作っている感覚であるが、これからは、「おらがまち」「おらがむら」を取り戻す。・「議会制民主主義」 < 「市民参加」となっているのではないか。 <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none">・審議会等やパブリック・コメントの実績など現状を把握することから始める。 →市が持っている情報をメンバーに送ること。・朝霞市協働指針が策定されてからどのように変化があったのかを検証する。

市民座談会（第14回）

日時：平成24年8月9日（木）19時～

場所：コミュニティセンター 第1集会室

グループ名	③広報・広聴（グループ名はまだ決めていない）
参加者	大野、白石、前田、（木内、浅見）
内容	<p>※要点を箇条書きでまとめてください。</p> <p>【メンバーから出された主な意見】</p> <p>○パブリック・コメントについて</p> <ul style="list-style-type: none">・市（課・担当者）・委員会によって対応が異なる（回答が丁寧 or 画一的）。・キャッチボールができるようになるとよい。・市のアライづくりに使われている。・内容の説明会があれば、内容を理解できるため、意見数も増えるのではないか。 <p>○広報紙について</p> <ul style="list-style-type: none">・同じ市民であるにも関わらず、広報紙が届く家と届かない家とがあつてよいのか。・年間購読の申し込みができたらよい（郵送料は個人負担）。・毎年4月に、新人職員に駅などで広報紙を配らせてはどうか。・議会だよりを切り分けてもよいのではないか。 ⇒切り分けると読まなくなるのではとの意見には、読ませるものに変えていく努力・改善が必要 <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none">・情報を知らせる手段の整備・イベント→知り合う→楽しむ→市民参画→集客→商店街の活性化・おとどけ講座を、市の計画の説明に使い、パブリック・コメントにつなげることができないか。 <p>【まとめ】</p> <ul style="list-style-type: none">・広報あさかは一方通行の情報発信・パブリック・コメントは、キャッチボール可能なものに変えていくことができる。パブリック・コメントの改革が課題である。・HPアクセス数・自治会加入率・朝霞市の情報発信手段についてメンバーに情報提供する。